

ホテルまつり in なかどまり

幻想的なホテルの光に癒される

ホテルまつり実行委員会(会長・荒関壽久)が、7月23日(土)、24日(日)の2日間、ホテルを観賞しようと滝ノ沢砂防愛ランドで、第11回ほたるまつり in なかどまりが開催され、2日間で約1000人の観覧者が集まりました。

このホテルまつりは、会場へシャトルバスで移動します。今年も中里高校のボランティアガイド7人と役場職員が会場までの移動中に、まつりの概要、ホテルの知識、観賞する時の注意点、町のイベント情報などを説明しました。

開会式では、荒関会長や来賓のあいさつに続いて、津軽鉄道(株)澤田社長がホテル列車などで集まった募金をホテル育成に役立てていただきたいと、まつり実行委員会へ寄附しました。その後、駆け付けた町イメージキャラクターらがダンスを披露し会場を盛り上げました。



さらに、来年のホテルの幼虫のために餌となるカワニナの放流を行い、たくさんの子どもたちが体験しました。最後にオカリナ演奏や詩の朗読が披露され、心地のよい音色が響き渡りました。

会場では、その日のオススメ品を用意して地元7店舗が参加しました。また、昨年に続いて、お茶の体験コーナーを設け、来場者をもてなしました。

ボランティアガイドを担当した高校生は「最初は緊張していましたが、乗客が喜んでいたので嬉しかったです。また来年もボランティアにきたい」と話していました。

主役のホテルは、湿気のある好条件で帰り道に飛び交う姿を見ることができました。ホテルを見ることができた来場者は「来て良かった。ふわふわと飛んでいる光がきれいだった。来年もまたきたい」と話していました。



オカリナ演奏



カワニナ放流体験

中里高校 S B P 活動日誌

6月29日(水) 中里高校で、これまで試食して点数をつけてきた特産品から、中泊町のセレクトギフトに入れるものを選定しました。

ギフトに入れる商品は、点数、大きさ、種類、中泊らしさが出ているものなどを条件に考えました。

高得点だが中泊らしさがうすい商品はどうするのかなど難しい問題もでてきましたが、みんなで悩みながら商品を選んだことは、勉強にもなったし楽しかったです。



7月15日(金) 鱒ヶ沢高等学校で、鱒ヶ沢町・深浦町・中泊町の特産品を取り入れたセレクトギフト作りの3回目の会議が行われ、3校のS B Pメンバーが参加しました。この日は、箱のデザインを話し合いました。意見が飛び交い、まとまるまでに時間がかかりましたが、みんなが納得できる形になったと感じました。3校合同の会議を重ねる度に、3校の仲がよくなり意見が言いやすくなってきていると感じました。他校のS B Pの商品選定などを参考にして、自分たちの活動に活かしていきたいと思いました。



7月24日(日) 町中央公民館で、中里高校S B P取り組み中間発表会を行いました。これまでのS B Pの活動をまとめ、町の人に発表しました。とても緊張しましたが、いい経験になったと思います。また、三重県立南伊勢高等学校の南伊勢S B Pからも取り組みについて発表がありました。すごく分かりやすく、はきはきと話していたのを見て、私たちも今まで以上にがんばろうと思いました。この中間発表会で、さらにS B Pを盛り上げることができたと思います。



7月25日(月) 鱒ヶ沢高等学校で、4回目の合同会議が行われ、3校のS B Pメンバーが参加しました。この日は、高校生レスランの仕掛け人である岸川政之先生も出席し、様々なアドバイスをいただきました。ギフトの値段を決めるときは、様々な意見が出てきて、まだまだ話し合いが必要だと感じました。完成形が見えてきたので、出てきた意見を取り入れ、よりよいギフトを作りたいです。

